

# 阿南高専

## 「次世代光関連事業開発支援プロジェクト」

### 基礎技術講座（第1フェーズ）受講生募集要項

徳島県は平成30年度に内閣府の「地方大学・地域産業創生交付金事業」に、光産業の生産額や雇用者数の増加を目的とした「次世代“光”創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画」を提出し、採択されました（全国で7県）。本校も本事業に参加しており、本校が多年にわたり取り組んできたリカレント教育「LED技術者養成講座」をベースに、オープンイノベーションを目指したデザイン思考導入による光関連商品・ビジネスの開発支援講座を開設します。

本講座は、新規事業開発に必要な知識を身に付ける基礎技術講座（第1フェーズ、半年間）と実際に新規事業開発に取り組む応用発展講座（第2フェーズ、1年間）で構成されており、今回は第1フェーズの受講生募集となります。

基礎技術講座（第1フェーズ）：令和元年10月19日～令和2年3月7日まで

応用発展講座（第2フェーズ）：令和2年4月～令和3年2月まで

#### 1. 第1フェーズの目的

光関連新規事業の開発を目指す令和2年4月からの第2フェーズの前に、受講者それぞれが必要と考える内容を選択して受講する講座です。本講座は、第2フェーズからの新規事業開発だけでなく、第1フェーズ受講生の所属企業における製品開発により光産業生産額増加に貢献することも目的としているため、第1フェーズのみの受講も可としています。また、第1フェーズ受講は第2フェーズ受講の必須条件ではなく、第2フェーズのみの受講も可能です。第2フェーズ受講生募集は令和2年2月～3月に行う予定です。

#### 2. 第1フェーズの受講対象

社会人及び学生（大学生、高専生）も受講可能です。

#### 3. 講座カリキュラムと開講時間

LED基礎技術、IoT、AI、回路設計製作、機械設計加工など17回構成（2ページ参照）

開講時間：土曜日9:00～12:00

#### 4. 提出書類

受講志願書3枚（HPより書式をダウンロードできます。）

#### 5. 募集締切

令和元年9月30日（月）まで（必着）

#### 6. 受講料

第1フェーズ各回2,000円（高専機構が定める公開講座講習料の標準額は5,400円）

ただし、学生および阿南高専ACTフェローシップ個人会員、会員企業の方は各回1,000円

#### 7. 募集人員と選考方法

実習機材の台数のため各回10名（第1回は講義のため定員無し）

定員を超えた回については、提出頂いた受講志願書により受講の可否を決定し、10月8日（火）頃に結果を連絡いたします。受講を認められた回数分の受講料を10月17日（木）までにお振込願います。

#### 8. 受講出願書提出先

メール、FAX、郵送のいずれかの方法により下記までお送り願います。

メール、FAX：〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木265

阿南工業高等専門学校 総務課企画情報係

TEL：0884-23-7215/FAX：0884-22-5424/E-mail:kikaku@anan-nct.ac.jp

郵送：同封の返信用封筒で徳島大学へ

## 9. 講座内容問い合わせ先

講座の具体的な内容についての問い合わせは、下記メールアドレスにご連絡ください。  
担当者：長谷川 竜生 E-mail:hasegawa@anan-nct.ac.jp

## 10. 開講式

10月19日(土)の第1回の講座前9:00~9:30に開講式を行う予定です。第1回講座は9:30~12:30となります。詳細は10月8日(火)頃に選考結果とともに連絡いたします。

## 11. HP、Facebook

HP や Facebook に講座内容や現在の申込状況などを随時掲載していきます。

HP <https://www.anan-nct.ac.jp/research/techno/recurrent/>

Facebook <https://www.facebook.com/ananrecurrent/>

## 12. 第1フェーズカリキュラム（土曜日：9:00~12:00）

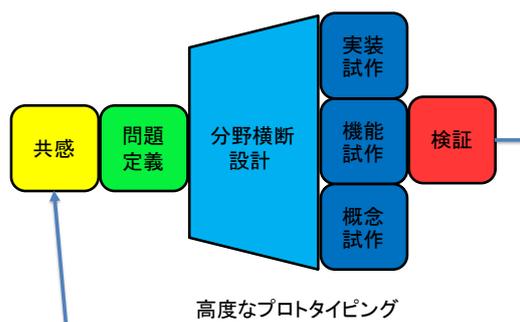
	実施日	テーマ名
1	10月19日(土)	LED応用事例紹介
2	10月26日(土)	LED点灯技術1
3	11月2日(土)	LED点灯技術2
4	11月9日(土)	LED点灯技術3
5	11月16日(土)	LED点灯技術4
6	11月23日(土)	IoT実習1
7	11月30日(土)	IoT実習2
8	12月7日(土)	IoT実習3
9	12月14日(土)	IoT実習4

	実施日	テーマ名
10	12月21日(土)	電子回路CAD実習1
11	1月11日(土)	電子回路CAD実習2
12	1月25日(土)	チップ部品実装実習
13	2月1日(土)	レーザー加工実習
14	2月8日(土)	3Dプリンタ実習
15	2月22日(土)	AI実習1
16	2月29日(土)	AI実習2
17	3月7日(土)	AI実習3

### (参考) 第2フェーズの概要

受講者（複数）+教職員+本校学生でチームを構成し、「デザイン思考」により製品・ビジネス案を検討し、実際に開発を行います。

- ・第2フェーズ受講にも受講料が必要ですが、各チームの開発案実現のために必要な経費は本講座から支給されます（上限あり）。
- ・製品のIT化に関しては、本校と関係の深い美波町のIT企業の協力を得ることができます。
- ・「デザイン思考」  
スタンフォード大学発のビジネス発想商品開発手法で、多様な人材でチームを構成し、共感 → 問題定義 → 設計 → 試作 → 検証のループを何度も繰り返し商品開発を行います。アップル社の iPod や任天堂の Wii はこの手法により開発されており、現在、多くの企業や大学で導入されている製品開発手法です。
- ・高度なものづくりを行うため、チップマウンター、リフロー炉、エッチング装置、スルーホールメッキ槽、はんだ付けロボットを導入し、既存設備であるレーザー加工機、3Dプリンタと共に本校実習工場オープンスペースに設置し、ここで製作作業を行います。



チップマウンター



リフロー炉